

社会に



それぞれの国や地域の皆さまと連携し、持続可能な社会の実現と皆さまの笑顔に貢献します。

2 風評をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

12 つくる責任 つかう責任

「社会に笑顔」への取り組みの詳細につきましては、下記アドレスからもご覧いただけます。
<https://www.maruchan.co.jp/csr/society/fundraising/>



東京大学の学生に工場の外部環境設備について説明する様子

東洋水産グループが社会と共有する価値

持続可能な社会への貢献

1 食品ロスの削減

食品を取り扱う企業の責任として、食品ロスの削減に向けた取り組みを行っています。原材料の有効活用や製造上のロスをなくす取り組み、生産・在庫管理の精度向上など、原料の選定から商品開発、製造、

流通、お客さまの使用・廃棄までの商品ライフサイクルそれぞれの段階で貢献できる活動を、ステークホルダーの皆さまとも協力しながら、商品を通じて進めています。

サプライチェーン全体での取り組み

一部商品の賞味期限の延長や年月日表示から年月表示への切り替えを実施し、流通段階や家庭内での賞味期限切れによる廃棄ロスの削減に取り組んでいます。また、フードバンクや子ども食堂の活動に賛同し、食材や商品の提供を行っています。

● 2022年度に賞味期限を延長した商品の一例

無菌包装米飯(白米)



あったかごはん



ふっくらごはんが炊けました 3個パック

2カ月延長 8ヵ月→10ヵ月

チルドうどんの一部商品



北海道産小麦で作りました北海道産小麦の玉うどん 3食入



マルちゃん焼うどん しょうゆ味 2人前

6日間延長 15日間→21日間

2 地域社会との活動

各事業所の近隣地域の方を対象とした工場見学の受け入れ、事業所近隣での清掃活動、スポーツなどのイベントの支援や協賛などを行っています。また、各事業所と地方自治体とのパートナーシップ協定や災害時協定の締結、災害時の緊急避難場所の提供などの取り組みを行っています。

自治体との災害時協定や障がい者雇用の推進

関東工場では、所在地である群馬県館林市との災害時支援協定を結び、災害時の物資の供給の他、地域住民の災害時避難場所を提供しています。また、(株)フレッシュダイナー山形工場では地元自治体との連携による障がい者雇用の拡大を行っています。



関東工場

3 持続可能な資材の調達

社会的責任を果たすべく、環境・社会・人権等に配慮した持続可能な資材の調達を推進しています。即席麺の製造に欠かせないパーム油や海洋資源の持続可能な調達、森林保護につながる紙資材の使用促進やプラスチック資材の使用削減などに取り組んでいます。

パーム油の調達についての取り組み

パーム油については、2019年にRSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟し、その「原則と基準」に基づいてパーム油の調達を進めています。米国の即席麺を製造する全工場、国内においては関西工場と(株)酒悦房総工場にてRSPOサプライチェーン認証を取得し、今後も取得事業所を拡大していきます。国内外の東洋水産グループ全体で、2030年度末までに持続可能なパーム油に切り替えることを目標にしています。

紙資源についての取り組み

森林の生物多様性を守り、地域社会や先住民族、労働者の権利を守りながら適切に生産されたFSC認証紙であることを示すFSC認証マーク。当社商品のカートン(段ボール)への表示を開始しています。

表示率* **45.8%**

*使用しているカートンの全種類に対する表示カートンの比率(2023年3月31日時点)